

セルリ(セロリ)



育苗

育苗中散水時に使用



- **根っ酵素1000倍液** → 根を強く張らせ、生長を促進。
※播種時、移植時(2~3葉)には、特に大事。
- **花咲くCa液1000倍** → 葉を厚くし、充実させ、徒長防止。
※酵素液から3~4日後、定植(7~8葉)の3日前。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
地力作り	なるべく早い時期に	<ul style="list-style-type: none"> ● ラクトバチルス600g → 排水よく、乾燥しにくい肥沃な土を作る。 ● 堆厩肥1トン以上~5トン (多いほど良い) ● 尿素60kg ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分25~30kg。 ※土壌pHが酸性(5.5以下)の場合は、畑の大将<青> 60kgも加えて地力作りをする事。
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはウネ上に散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 畑の大将<青> 80kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将<赤>を施す。 好適な土壌はpH:5.5~6.5(生育中の全期間5.5以上である事) ※カルシウム栄養が軟腐やス入りを防止し、品質を向上させる。 ● マンゾク粒状50kg → 根張り・生長促進、土壌病害・連作障害対策。
定植時	定植前後の灌水の時に	<ul style="list-style-type: none"> ● 根っ酵素500倍液 → 活着・初期の根張り促進、病害軽減。
前半	葉面散布(交互に)	<ul style="list-style-type: none"> ● 根っ酵素500倍液を葉面散布 → 根・生長を促進。 ※前半は特に根の力をつけることが大事。 チッソ過多にはしないように注意する。 (もしチッソを補給する場合はアミノ酸液) ● 花咲くCa液500倍 → 生育を引締め、葉の病害対策。 ※チッソ過多が心配な時は、カルシウムを繰り返す。
	灌水	<p>灌水量を多めに十分に深く染み込ませる。灌水の間隔は長めにとる事。灌水の時、根っ酵素を2ℓ程度(300倍前後)加えると、特に根が強く働いて、生長が進む。</p> <p>※定植後30~40日、脇芽カキの直後に酵素液を使用する。</p>
追肥	定植後40日頃以降、10~15日間隔で三回 ※右記を同時に施用	<ul style="list-style-type: none"> ● 硫安30~40kg → 生長量を増大させる。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 畑の大将<青> 30~40kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将<赤>を施す。 → 品質を向上させ、軟腐・芯腐れを防止。 ※高品質のためには、必ずチッソとカルシウムとを同量施す。 ※追肥は必ず株から遠く離して均一に散布する。 根にあたる土は全層にpH:5.5~6.0、EC:0.2~0.4厳守する。
仕上げ	収穫前10日頃、葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 花咲くCa液500倍 → 充実を進め、旨味が増し、品質が向上。